

ご挨拶

学長 松本 秀章

本学は、昭和二十七年に岐阜県郡上郡八幡町に岐阜県濃北短期大学として開学し、その後、移転、名称変更を経て、昭和五十年に現在の滋賀県長浜市田村町に移転し、滋賀文教短期大学と変更し、本年創立七十周年を迎えました。また、今年度は新校舎（松翠館）の建設による学習環境の整備により、一層の魅力化を図りました。私は、この記念すべき年に学長を拝命するにあたり、地域の皆様や本学の伝統を築かれた関係者の皆様に改めて敬意を表すると共に、本学の使命を達成できるよう尽力していく所存です。

本学は、学園創設者松本富士之助先生の「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である」という、「教育者の養成」を教育理念にもつ短期大学です。そして、理想とした教育者は、知識・技能に偏るのではなく、豊かな人間性等もバランスよく備える人材であったことから、建学の精神を「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成」としています。

このようなことから、本学の使命の一つに、本学が高等教育機関として地域の教育及び研究の拠点となり、知的資源を社会に還元することがあげられます。現在、我が国における社会構造・産業構造は、近年の新型コロナウイルス感染症の影響もあり、より一層急激な変化が見込まれています。そうした中で本学が、引き続き社会に必要とされる人材を育成し、地域貢献を果たしていくためには、これまでの、学生の面倒見が良く支援体制が充実しているというだけではなく、多様な学生に対して、様々な学習支援を行いながら基礎的な能力と付加価値をつける取り組みが求められています。そのため、令和四年度からは新たな教育課程のもと、国文学科では、本学の教育課程で身につけた幅広い知識と教養をもって社会で自立できる人材の養成を、また、子ども学科では、幅広い知見と豊かな教養を備え、子どもに関わる専門的な知識・技能と実践力を修得し、向上心や探究心をもって保育・教育の分野に広く携わることのできる人材の育成をそれぞれ教育目的とし、教育活動を充実させています。

こうした使命を達成するにあたり、本学における研究活動の成果を発表する紀要は大きな役割を担っています。この紀要も今回の刊行で第二十五号となりました。多くの方にご覧いただければ幸いです。

最後に、日々熱心な教育や学生指導で多忙の中、執筆・編集にあたった教職員各位に感謝申し上げますとともに、今日まで七十年間にわたり、本学に對し深いご理解と温かいご支援・ご協力をいただいた多くの皆様に心から感謝申し上げますとともに、引き続き本学へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。発刊の挨拶といたします。